

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	252005	事業期間	平成 25 年度～平成 29 年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
Journal of the Meteorological Society of Japan の日本気象学会による国際情報発信強化の取組		公益社団法人 日本気象学会	理事長 新野 宏
学術刊行物の名称			(略称)
Journal of the Meteorological Society of Japan			JMSJ

【平成 27 年度 中間評価結果】

評価	評価基準
A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
○ A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p>論文の質向上のために海外の閲読者割合を約半数まで増加させるとともに、全採択論文に「英文添削」を実施したこと、著名な研究者によるレビュー論文の掲載、特別号・特集号企画を推進したことは有効な取り組みと評価できる。また、ネットを活用した電子ジャーナルとしての visibility 向上、論文審査の効率向上・迅速化も順調に進んでいる。</p> <p>今後もこれらのアプローチを更に充実・発展させるとともに、一つの可能性として、インパクトの大きな新たな研究成果を世界に先駆けて迅速に発信する、いわゆる Express Letter のような機能も創設して、雑誌としてのステータス向上を目指す試みを期待したい。</p>	